

投資家のみなさまへ

東証スタンダード市場・福証
証券コード：6998

日経・東証IRフェア2026 ミニ会社説明会

2026年8月28日～29日

様々な産業での長寿命・高機能化ニーズに応じた
レアメタル部材等の開発、製造及び販売



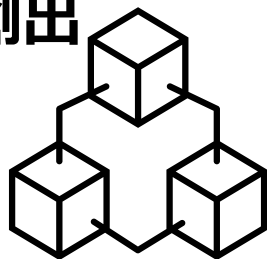
本資料は、当社HPにも掲載しております⇒



本日は伝えたい4つのポイント

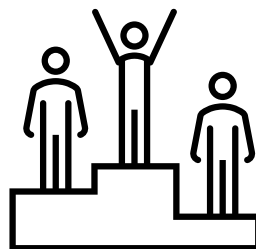
ポイント①

当社は、高度な
ふん まつ や きん
粉末冶金技術
によりお客様ニーズ
に応える**高機能・**
高付加価値製品
を創出



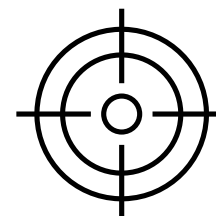
ポイント②

- ・ ニッチな市場で
トップシェアを確立
- ・ 幅広い市場に展開



ポイント③

ビジョン2028の
実現に向けた
中期的な戦略



ポイント④

安定・継続的な
株主還元を実現





① 当社の事業

② 当社の強み

③ 企業成長に向けた取組み

④ 株主還元

① 当社の事業

「粉末冶金技術」を駆使し、タングステンを軸に多様な特性を持つ高機能商品を創出

1930年代

1950年代

1980年代

2000年代

粉末冶金技術

タングステンに銅や銀を組み合わせ、**通電性や耐アーク性を備えた**合金を開発

熱に強いタングステンの特徴を用いた電球フィラメントが、当社の出発点

タングステンカーバイドとコバルト等を組み合わせ、**耐摩耗性や耐腐食性に優れた**合金を開発

超硬合金製品

(タングステンカーバイド合金)

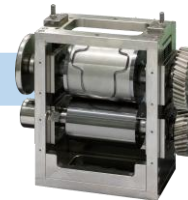
セラミックス製品

(セラミックス材料)

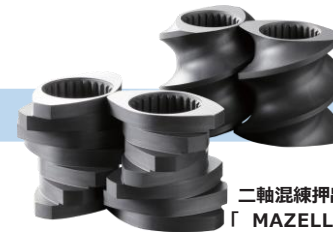
粉末冶金技術を生かし、タングステン以外のチタンやアルミニウム等からなる**緻密な**ファインセラミックスを開発

ハードディスクドライブ (HDD) 用
磁気ヘッド基板

サーバー・クラウド



NTダイカッター



二軸混練押出機用部材
「MAZELLOY®」



サニタリー用品

電気・電子製品

(タングステン製品)



ブレーカー用電気接点



抵抗溶接用電極



プラズマ電極

自動車の部品



給電端子部品

金属材料製品

(タングステン製品)



電球用タングステンワイヤー製品



医療関連カテーテル用タングステンワイヤー製品



カテーテル治療

数字で見る ^{にっぽん} 日本タングステン株式会社

創業

1931年

本社/福岡県福岡市



証券コード

6998

東証スタンダード市場



資本金

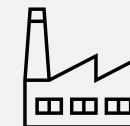
25億950万円



国内工場

3 拠点

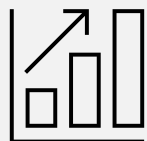
福岡県 2 / 佐賀県 1



売上高

127億円

FY2025/連結



従業員数

493人

2026年3月時点/ 連結



国内子会社

2 社



海外関係会社

4 社

アメリカ / イタリア / 中国 / タイ



② 当社の強み

強み ① 高度な粉末冶金技術

強み ② ニッチトツプ°

強み ③ 幅広い市場で展開

強み ① 高度な粉末冶金技術

主材料

タングステン

- 元素記号の「W」は、スウェーデン語で「重い石」を意味する。レアメタルに属する。

熱に強い

鉄が溶ける温度は1500℃
タングステンが溶ける温度は3380℃

⇔ 溶けにくい

固い

炭素とくっくと非常に硬く
ダイヤモンドの次に硬い

⇔ 削りにくい

重い

同じ大きさの鉄の 2.5倍
鉛の 1.7倍
金とほぼ同じ重さ

⇔ 動きにくい

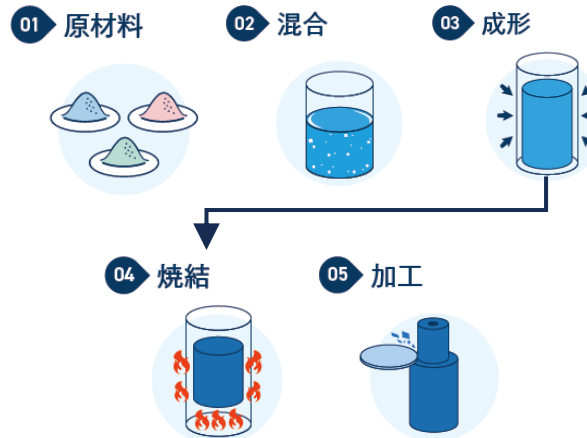
タングstenは
高度な製造技術を要する材料



技術

粉末冶金技術

材料の粉末を成型して焼結し、
製品をつくる製法



タングstenなどの粉末材料を産業用
製品に導く粉末冶金技術

ニーズに合う機能を引き出す材料技術や
焼結時の収縮を計算した成形技術が強み

アウト

高機能な製品

様々な材料を融合させ
お客様ニーズに合った商品を創出

独自の材料配合により、多様な機能を備えた製品を提供します！

耐熱性

電球フィラメント
高温炉の部品

耐摩耗性・耐酸化性 耐腐食性

耐摩耗部品

高密度

バランスウェイト
放射線遮蔽材

電気および熱伝導性

電極製品
放熱板

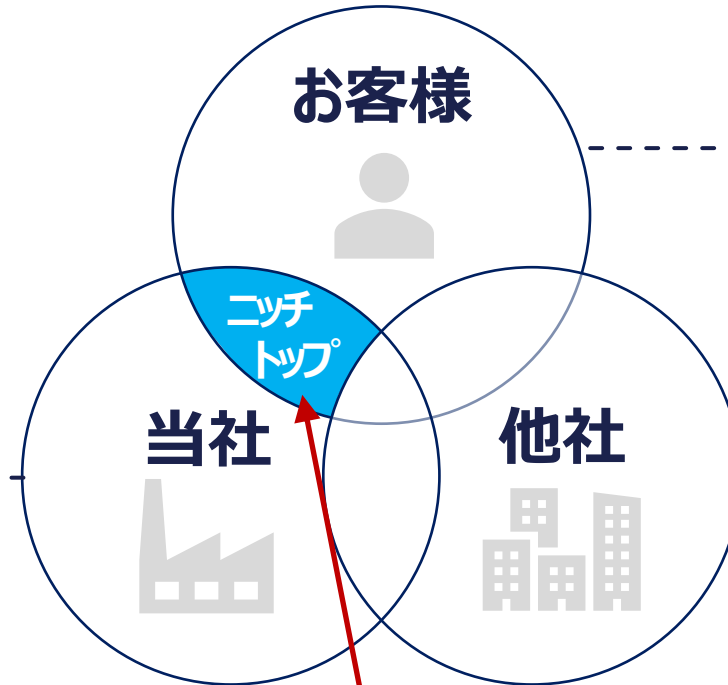
強み ① 高度な粉末冶金技術

強み ② ニッチトップ°

強み ③ 幅広い市場で展開

当社が提供できる価値

- タングステンを中心とした粉末冶金技術を活用
- 特定用途に最適化した高機能製品・サービス
- お客様のニーズを解決



お客様が求める価値

- 生産性向上
- コストダウン
- CSRの向上
- リスクの回避
- 付加価値のアップ°

ニッチトップ°

高付加価値製品で、トップシェアを確立

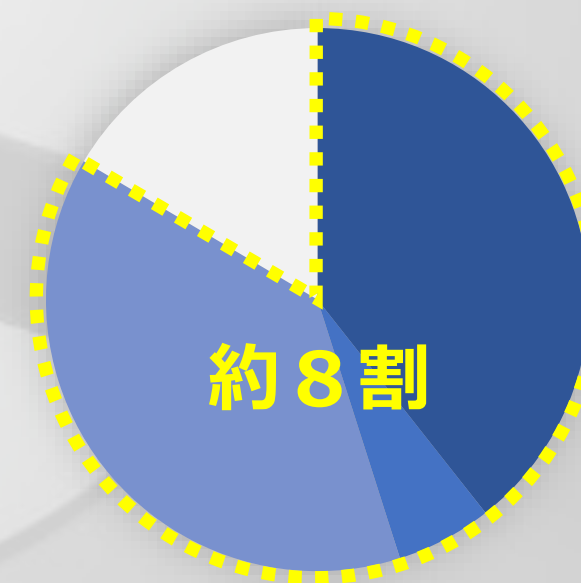
強み ② ニッチトップ商品 #1

ハードディスクドライブ（HDD）用磁気ヘッド基板

世界 No. 1 シェア(当社調べ)

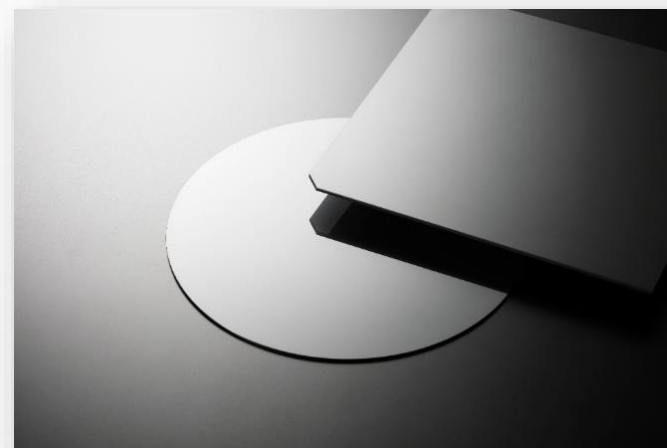
当社の磁気ヘッド基板は
約8割の世界シェア

世界の磁気ヘッドメーカーのシェア

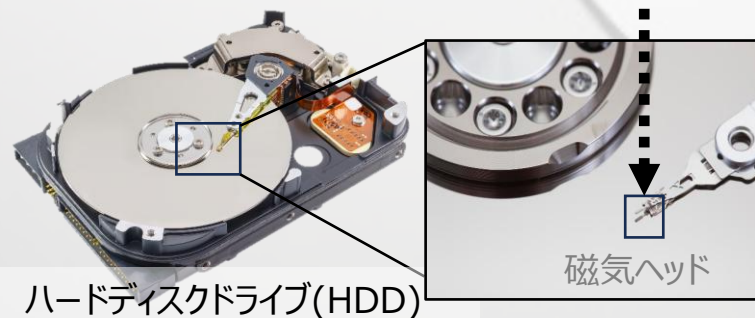


■ A社 ■ B社 ■ C社 ■ D社

(出典) テクノ・システム・リサーチ社



切り出して磁気ヘッド
先端部へ装着



高い性能・品質・信頼性

高純度

緻密

微細で均質

強み ② ニッチトップ商品 #2

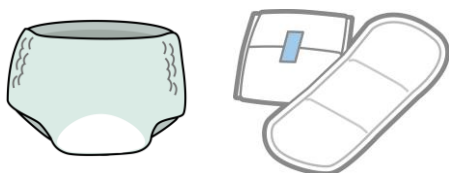
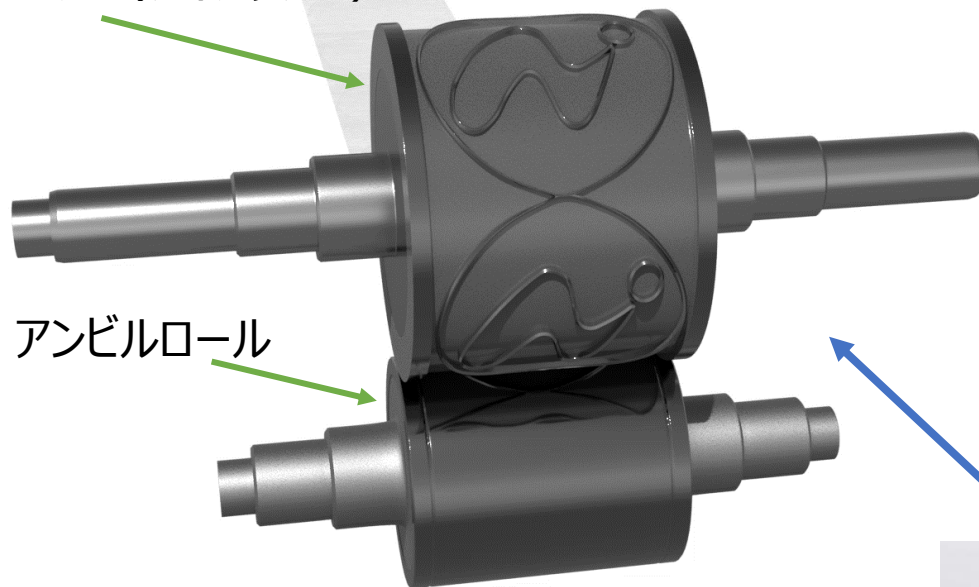
超硬合金製 NTダイカッター

世界 No. 2 シェア(当社調べ)

国内 No. 1 シェア(当社調べ)

刃先付きロール (ダイカッター)

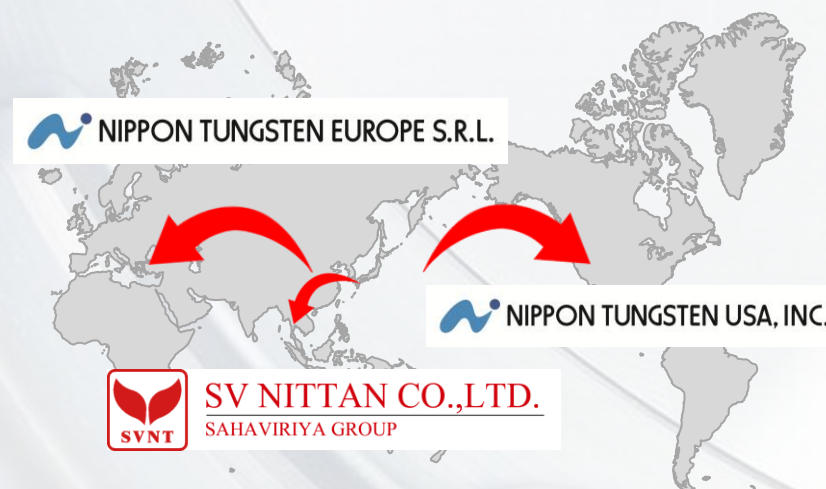
アンビルロール



ユニット外観

- 回転しながら不織布を切断するロータリーカッター
- ナプキンや子供・大人用おむつに使われる不織布の切断・輪郭加工

- 製品販売や刃先を再研磨するサービスを**グローバルに展開**



- 市場が成長する中国や中東等に
拡販活動を展開

強み ① 高度な粉末冶金技術

強み ② ニッチトツプ^o

強み ③ 幅広い市場で展開

強み ③ 幅広い市場で展開

主要な商品を成長・コア事業領域に区分しターゲットとする4市場に展開

成長事業

事業成長を加速させ、新規市場を開拓
【リソースを投資】

産業用機器・部品市場

超モノづくり部品大賞「日本力(ぶらんど)賞」受賞
ものづくり日本大賞 優秀賞 受賞



二軸混練押出機用耐摩耗部品
マゼロイ

コア事業

収益基盤とキャッシュ創出を強化
【シェア拡大、サービス化】

衛生用品機器・医療用部品市場

「国内No.1・世界No.2シェア」(当社調べ)
「新材料・新ユニットを展開」



おむつなどの衛生用品製造設備用部品
NTダイカッター

半導体・電子部品市場

「世界No.1シェア」(当社調べ)



ハードディスクドライブ(HDD)用
磁気ヘッド基板

半導体製造装置
部品向け
受託加工

半導体・電子部品市場

半導体製造装置に用いられる
給電端子部品

衛生用品機器・医療用部品市場



医療用
タングステンワイヤー
・ロープ

自動車部品市場



電装部品溶接用
抵抗溶接用電極

機械部品事業

電機部品事業

様々な場面で暮らしを支える当社の製品

■ 半導体・電子部品市場

サーバーなどのハードディスクドライブの読み取り装置を支える基板や、「産業のコメ」といわれ、電子デバイスの基本材料となる半導体にも、その製造過程で当社の製品が使われている。



■ 衛生用品機器・医療用部品市場

カテーテル用のブレーディングチューブや電気手術用電極など、医療分野でも当社の製品が使われている。



皆様の健やかな生活を支える衛生用品の製造工程でも、当社の製品が使われている。



■ 自動車部品市場

先端技術を駆使した自動車の部品や、製造工程にも当社の製品が使われている。



■ 産業用機器・部品市場

より効率的な生産への改善や、安全面、環境面への管理に対し、信頼性の高い部品が求められています。高品質な材料を活かし、当社の様々な製品が この分野でも活躍している。



③ 企業成長に向けた取組み

原材料の調達難や価格高騰、人件費の上昇等により厳しさを増す事業環境下で、
このような状況を乗り越え、企業価値を向上し、持続的な成長を実現するため、
2026～2028年度までの3か年を対象とする「日本タングステングループ2028中期経営計画」を策定。

VISION わたしたちの 目指す未来像



● サステイナブルビジョン2050

「より少なく、よりよく。」に共感する多くのパートナーと共に、
物質的制約を越えていくソリューションを創造し続け、
資源の枯渇や気候変動といった社会課題が解消された世界を実現している。



● 100周年ビジョン2031

挑戦する組織とマテリアル&デザインの力によって、
より少ない時間と資本からより多くの価値を創造し、持続可能な世界への貢献を加速している。

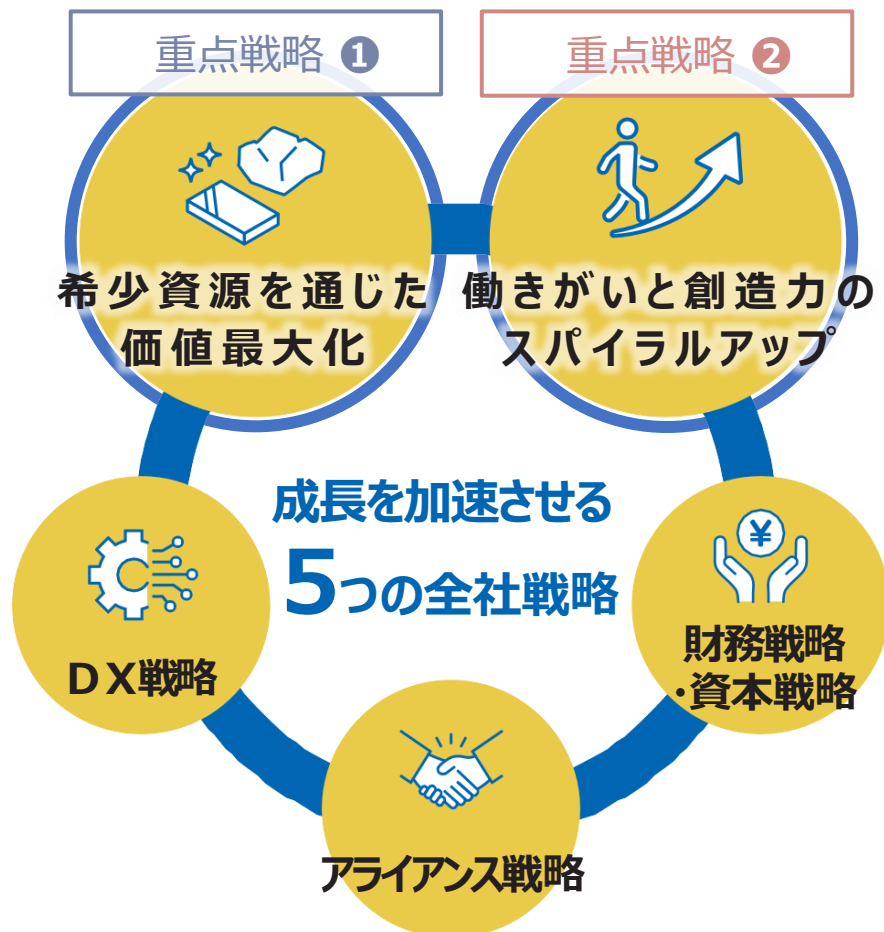


● ビジョン2028

日本タングステングループは、一人ひとりの活躍とつながりによって、
人と資源の制約を乗り越え、選ばれる存在になっている。

「日本タングステングループ2028中期経営計画」では、5つの全社戦略を設定し、うち、重点戦略「希少資源を通じた価値最大化」「働きがいと創造力のスパイラルアップ」は、5つの重点施策に取り組みます。

全社戦略



重点戦略

希少資源を通じた価値最大化

重点施策

- ① 循環型ビジネスモデルへの挑戦
- ② 価値創造プロセスの推進
- ③ 事業ポートフォリオの最適化

働きがいと創造力のスパイラルアップ

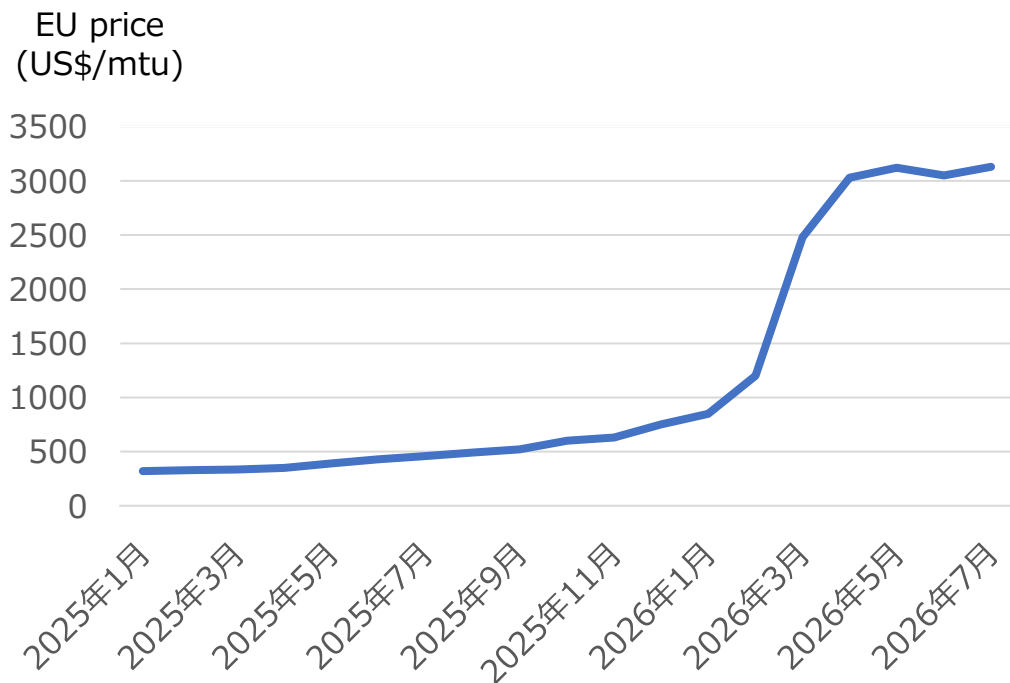
重点施策

- ① 人的資本経営の推進
- ② ビジョンマネジメントの強化

中国の輸出規制の強化に起因するタングステン材料の高騰や調達難が継続。
マテリアル&デザインの力でより少ない希少資源から、よりよい価値を創造できるビジネスへ変革します。

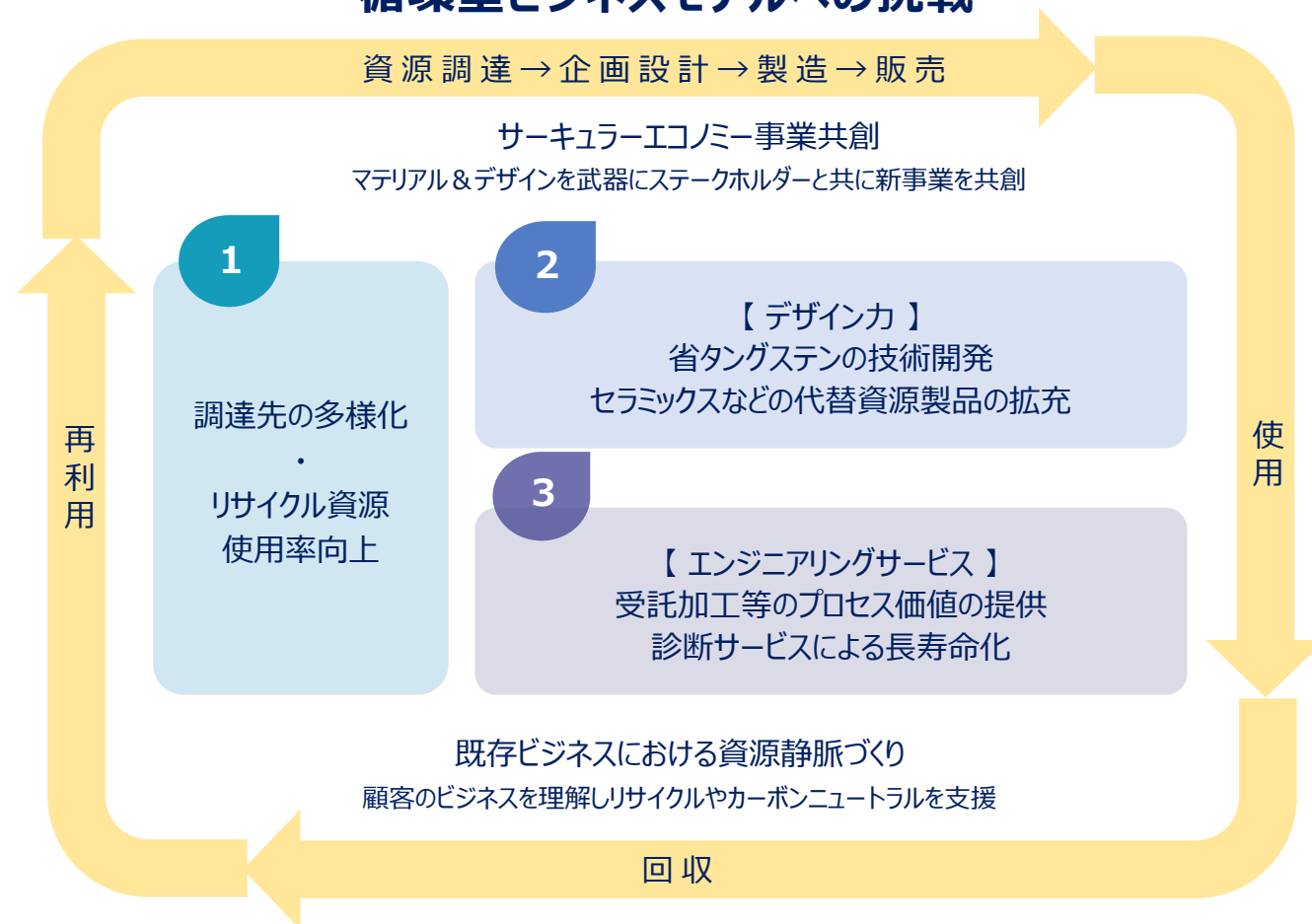
タングステン材料 APT価格の推移

(2025年1月～2026年7月)



(出典) 日本特殊材料株式会社の月別価格より作成

循環型ビジネスモデルへの挑戦



事業の選択と集中を進め、「コア事業」で収益基盤を強化しつつ、
「成長事業」への戦略的投資を加速することで、当社グループの収益性と成長性の最大化を目指します。

機械
部品
事業

電機
部品
事業

成長事業

事業成長を加速させ、新規市場を開拓
【 リソースを投資 】



二軸混練押出機用部品
マゼロイ

半導体製造装置に用いられる
給電端子部品

コア事業

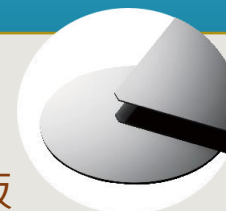
収益基盤とキャッシュ創出を強化
【 シェア拡大、サービス化 】



NTダイカッター

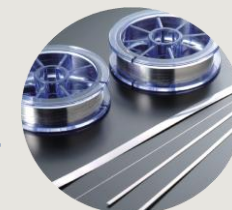
半導体製造装置部品向け
受託加工

HDD用
磁気ヘッド基板



抵抗溶接用電極

医療用
タングステンワイヤー
・ロープ



リソースの転換

価値転換事業

上記以外の商品については、事業性を慎重に検討し価値向上を目指す一方で、必要に応じて撤退や縮小も柔軟に判断していく。

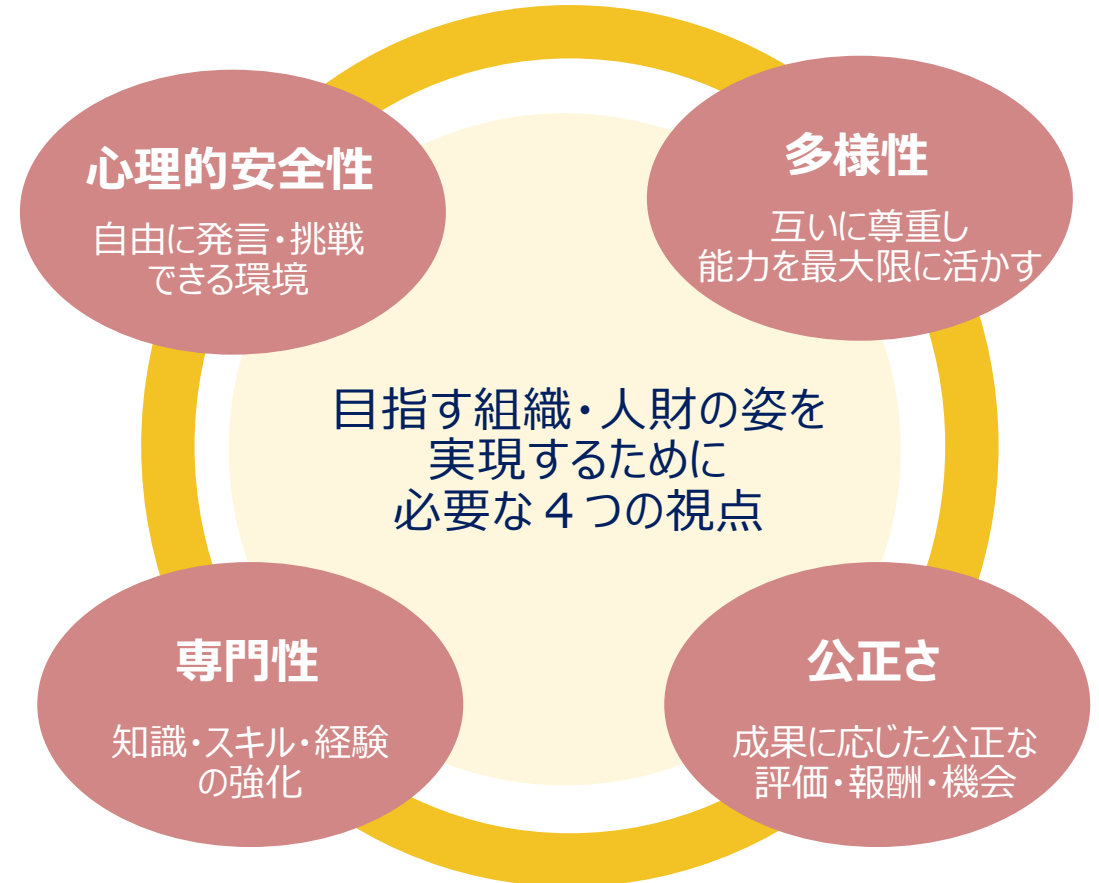
中長期的な発展を実現するために、多様な価値観を持った人々が、働きがいを感じ、積極的に力を合わせて価値創造に挑戦する企業文化を醸成します。

目指す組織

- ① 全社員一丸となって同じ目標に向かって挑戦できる組織
- ② 一人ひとりの豊かな個性が重なり合うことで価値を生み出す組織
- ③ 自分たちの存在に自信と誇りを持った組織

目指す人財

- ① 信用と信頼を大切にできる人財
- ② 仲間の個性を尊敬できる人財
- ③ 大小問わず新しいことに取り組む活力に溢れた人財



収益力（稼ぐ力）を高める事業戦略と資本効率を高める財務戦略を融合させた企業構造改革を着実に実施し、持続的に社会・市場への貢献を最大化することで、企業価値を高めます。

2031年

営業利益 **20** 億円以上 ROE **10** %以上

人と資源の制約を乗り越え、将来の大きな成長に向けた強固な基盤を確立します。

2028年

営業利益 **7** 億円以上 ROE **5** %以上



収益力を高める事業戦略

人と資源の価値最大化

事業構造改革

人的資本経営の
実装



資本効率を高める財務戦略

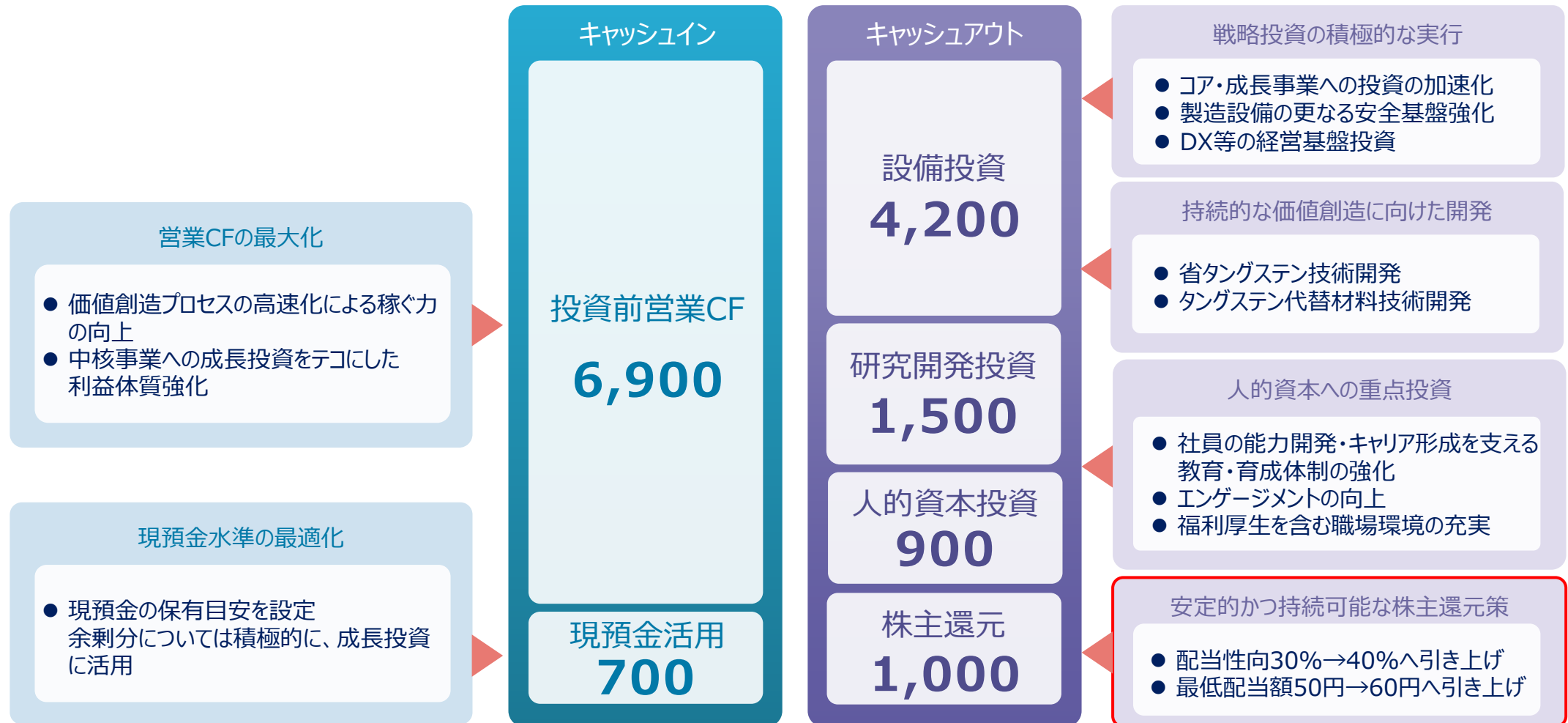
機動的な財務戦略

資本コストを
意識した経営

株主還元の充実

キャッシュアロケーション (2026~2028年度)

営業キャッシュフローの伸長と手元現預金等を原資として、
コア・成長事業、安全基盤強化、研究開発、人的資本に投資配分し、また株主還元の充実も図ります。



**2027年3月期（2026年度）
第1四半期決算の状況（連結）**

2027年3月期（2026年度）第1四半期決算の状況（連結）

IPPON TUNGSTEN CO., LTD.

26

（単位：百万円）

	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	対前年比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	3,134	4,200	1,065	34.0
営業利益	205	632	426	207.5
経常利益	268	794	525	195.4
親会社株主に帰属 する当期純利益	181	556	375	207.0

第1四半期の業績は、
前年同四半期比で大幅な増収増益。

今後の見通し

- 当第1四半期は大幅な増収増益となった一方、先行きは不確実性が高い状況
- 売上高は、今後も供給対応に取り組みながら、一定の増収を見込む
- 損益面では、高騰した原材料の使用により売上原価の上昇を見込む

業績予想

- 当第1四半期の連結業績は、第2四半期および通期の業績予想値から上方に乖離
- 直近の業績および受注動向を踏まえ、**2027年3月期第2四半期の連結・個別業績予想を上方修正**
- 通期業績予想は現時点では据え置き**

中国の輸出規制強化の継続に伴う原材料価格の動向が見通しにくく、収益性が見極めが困難なため原材料価格等の動向を注視し、合理的な業績予測が可能となり次第、速やかに開示

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

連結業績予想	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,600	42.1	1,500	404.2	1,720	290.9	1,230	304.2	253.23
据え置き 通期	15,000	17.4	730	2.3	1,010	△10.9	720	165.9	148.23

④ 株主還元

当社グループの株価の状況

● 株価の推移



● 株式関連指標

発行済株式数 (2026/3/31現在) 5,155千株

株価 (2026/8/17終値) 3,190円

1株当たり純資産 (2027/3月期第1四半期末) 2,853.96円

PBR : 株価純資産倍率 (8/17時点) 1.11倍

1株当たり当期純利益 (2027/3月期予想ベース) 148.23円

PER: 株価収益率 (2027/3月期予想ベース) 21.54倍

1株当たり年間配当予想 (2027/3月期) 90.0円

配当利回り (2027/3月期予想ベース) 2.82%

- ※ 1 1株当たり情報等は、株式分割後の発行済株式数により、算出しております。
2 株価及びPER・配当利回りの算定基礎となる株価は、東京証券取引所の2026年8月17日の終値を用いております。

安定的かつ持続可能な株主還元を実現する観点から、
配当方針を従来の「配当性向30%を目安、年間配当下限額50円」より
「配当性向40%を目安、年間配当下限額60円」に変更し、さらなる株主還元の充実を図ります。

時価総額100億円を経て
PBR1.0倍超を目指す



時価総額 **100** 億円以上

PBR **1.0** 倍超

積極的な配当方針のアップデート



配当性向の引き上げ

従来目安30%から **40** %目安へ

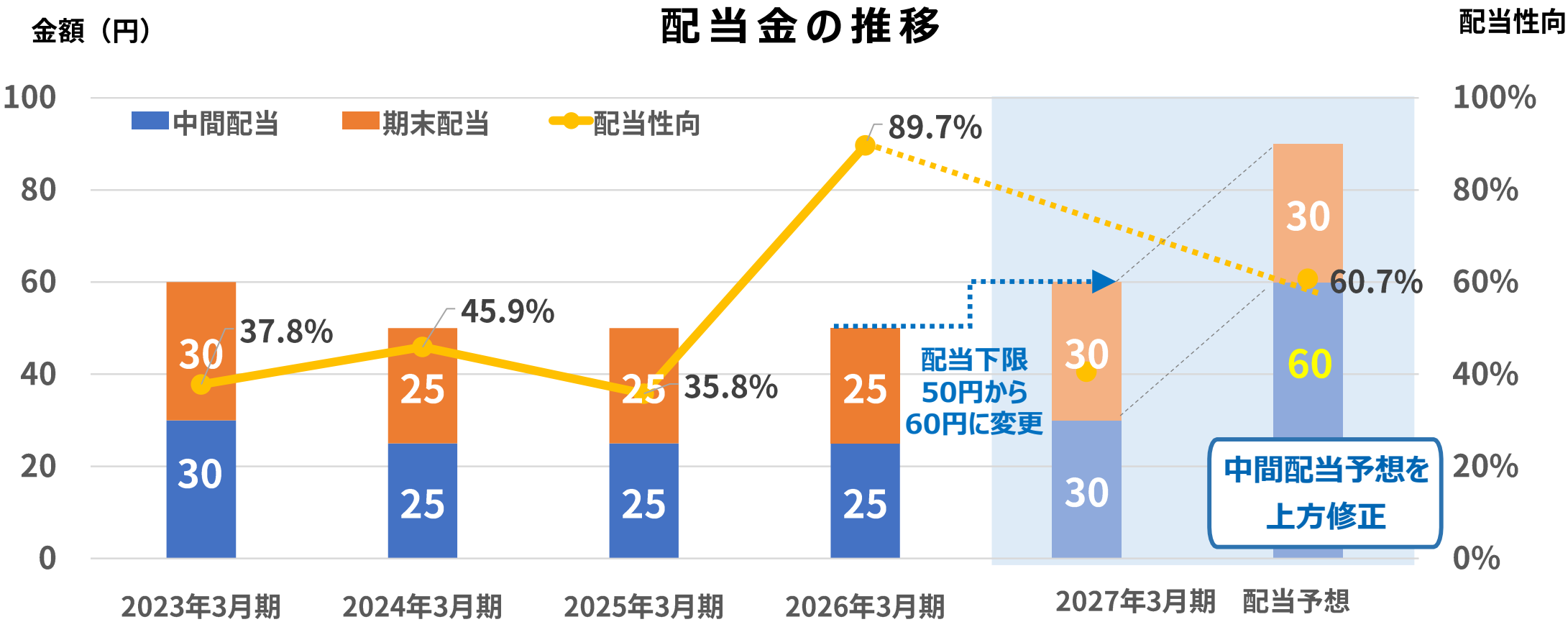
1株当たり年間配当金下限

従来下限50円から **60** 円へ



配当金の推移

配当予想については、第2四半期累計期間の業績予想を上方に修正したことから、
中間配当予想を30円から60円に上方修正。期末配当予想については、現時点では据え置き。



日本タングステンの事業

- 「熱に強い」「硬い」「重い」という特性を持ち、加工難材料であるタングステンを、粉末冶金技術を用いて、「摩耗しにくい」「腐食しにくい」といった材料（マテリアル）の力を引き出し、高機能な商品を製造。
- 幅広い市場でニッチトップを目指す金属加工メーカー。自動車製造用や産業用の機械部品、半導体・衛生・医療などの市場に展開。

企業成長に向けた取組み

- 原材料高騰や人件費上昇など厳しい事業環境を乗り越え、企業価値向上と持続的成長の実現に向けて、2026～2028年度を対象とする『日本タングステングループ2028中期経営計画』を策定・推進中。

企業価値向上の取組みと株主還元

- 時価総額100億円を経てPBR1.0倍以上を目指す。
- 1株当たりの年間配当金の下限を60円に設定し、株主還元を強化。
- さらなる株主還元について、継続的に検討。

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



■ I Rに関するお問い合わせ先

経営管理本部 経営管理部 : TEL092-415-5500

mail : info@nittan.co.jp

ホームページ : <https://www.nittan.co.jp/>